※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新　文学国語」　　（三省堂）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・二年次の基礎を引き続き、社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につけましょう。
・文学作品を通じて、深く共感する能力や豊かな想像力を養い、「書く能力」や「読む能力」を伸ばしましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・提出物の期限は必ず守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝えあうことができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会生活に必要な国語の基礎的な知識・技能を身につけている。 目的や場に応じた言葉の使い方や文章表現を理解している。	文章を的確に読み取り、内容や構成、表現の意図・工夫などを理解している。 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自身の考えを深めている。 自身の考えを正確に表現し、他者に伝えるために、創造的に考える力を養い、適切な言葉を使用して発表したり、文章を書いたりしている。	言葉を通して、他者や社会に関わり、感じ方、考え方を深めながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。 言葉を大切にする姿勢を養い、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 人間関係において、互いを尊重し、自身の意思を正しく伝えようと努めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	読みの深まり ［教材］「予感」	a：文体や表現の特徴を意識しながら読み、内容を多角的に解釈する。 b［ 読 ］：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う c：表現に着目しながら登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、心情の変化を捉えようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	作品の挑戦（一） ［教材］「少年という名前のメカ」	a：・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：「メカ」である主人公の特徴を、一般的な「人間」の主人公と比べて考える。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	想像と創造 ［教材］「月火水木金土日」	a：親近感を感じやすい状況・言葉遣いの中で、現代小説の面白さを味わう。 b［ 読 ］：小説の細部まで目を配り、登場人物の性格、心理、行動の変化を読み取る。 c：進んで題名に込められた意味について熟考し、自身の考えを記述する。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	修辞法 ［教材］プリント	a現代の小説で用いられる修辞法の特徴・使用例を学ぶ。 b［ 読 ］：a で学んだ修辞法を実際に用いた短文を自分で作ることで、修辞法に対する、より深い理解を養う。 c：授業内で、自分自身で作った「修辞法を用いた文章」を発表または共有し、積極的に理解しようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検

※令和４年度以降入学生用

後期	作品の変貌 ［教材］「鞄」	a：内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 b[読]：文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：「私」「青年」「鞄」の関係について整理しつつ、筆者の考える「自由」について理解しようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	文学の普遍性 ［教材］「珊瑚のリング」	a：・本文の構成を理解し、物語の展開を整理しながら、作品にこめられた心情を読み取る。 b[読]： 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 c：象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
	作品の挑戦（二） ［教材］「バースデイガール」	a： 登場人物同士の関係や心情を把握しながら読み、物語の展開を理解する。 b[読　]：物語に散りばめられた、筆者ならではの文章表現から「彼女」「オーナー」の心情・考えを読みとる。 c：「彼女」と「オーナー」の会話、「彼女」と「僕」の会話を足がかりに、「彼女の願いごと」の内容や、作品に込められたメッセージを理解しようとしている。	記述の確認及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　５５　）時間